

『北海道の臨床教育学』第6号 投稿論文の募集のお知らせ

2016年10月31日 『北海道の臨床教育学』編集委員会

北海道臨床教育学学会編集委員会は、『北海道の臨床教育学』第6号（2017年7月発行予定）への投稿論文を募集します。投稿論文は以下の3つの種別から構成されております。

- ・研究論文 20,000字以内（図表、注、引用文献・参考文献を含めて）
- ・実践研究論文、事例研究論文 20,000字以内（同上）
- ・実践報告、事例報告、調査報告 16,000字以内（同上）

研究論文は、臨床教育学に関わる実証的、実践的、理論的研究、あるいは総説的な視野に基づく問題提起的な研究を記述したものを指します。

実践研究論文、事例研究論文は学問的な形式・方法としては構築途上のものであるが臨床教育学の研究、あるいは実践に貢献する内容、もしくは問題提起を記述したものを指します。

実践報告、事例報告、調査報告は現時点では研究的なアプローチの対象となりにくいが、臨床教育学の展開・深化に資するものとして、今後の検討課題とすべき内容を含んだ実践・事例・調査を記述したものを指します。

<投稿の申込、原稿締め切りについて>

投稿の申込（意思表示）の締め切り、原稿の締め切り、投稿先は以下の通りです。

- ・投稿申込（意思表示）締め切り：2016年11月30日（水）（必着）
* 検討中の方も一度、申込み願います。
- ・原稿締め切り：2017年1月31日（火）（必着）
- ・投稿先：編集委員会投稿担当

詳細に関しましては、どうぞお気軽にお問い合わせ下さい。

<投稿に関する問い合わせ>

第6号でも編集委員が中心となり論文投稿に向けた準備のサポートも行います。以下のような疑問がある場合には、お気軽にお問い合わせ下さい。

- ・投稿してみたいという希望があるものの、論文にする方法や過程について相談がある場合
- ・どの部門に投稿するかについて相談したい場合
- ・投稿する際に内容などの検討を希望する場合

<執筆における相談支援について>

第6号でも投稿申込者に求めに応じて相談支援者を設定し執筆のサポートを行います。研究誌への論文執筆について経験のない実践者の方もご自身の実践をまとめるなどの機会としてご活用いただくと幸いです。

そのため、投稿申込にあたっては執筆予定の概要（取り上げる先行研究、事例など）についてできるだけ具体的に記入するようお願いいたします。

<投稿、問い合わせの方法>

投稿申込（意思表示：検討中の方も含む）、もしくは投稿に関する問い合わせをご希望の方は以下の点を記しEメールまたは郵送（FAX不可）にて、2016年11月30日（必着）までに編集委員会投稿担当までお申し込み下さい。

- ・ 投稿（予定）者氏名
- ・ 所属（院生の場合には院生と付記）
- ・ 連絡先（住所、電話番号、Eメールアドレス）
- ・ 投稿申込みの際は投稿論文題目（仮題でも可）と投稿部門
- ・ 相談支援者設定の要・不要
 - 「要」の場合は、執筆予定の概要（取り上げる先行研究、事例など）についてできるだけ具体的に記入するようお願いいたします。
- * 問い合わせの場合はその内容を詳細に記入願います。

困難の多い学校現場はもちろんのこと、心理、福祉、保育、養護、療育、医療など、さまざまな領域の（あるいは領域を超えた）発達援助実践に関わる論文の投稿を心からお待ちしています。

【『北海道の臨床教育学』編集委員会】

編集委員長	間宮 正幸（北海道大学）
副編集委員長	黒谷 和志（北海道教育大学旭川校）
編集委員	伊藤 克実（札幌学院大学）
編集委員	内田 雅志（札幌市児童心療センター）
編集委員	守屋 淳（北海道大学）
編集委員	宮井 真由（公立学校スクールカウンセラー）

【投稿担当】（投稿受付先）

〒060-0811 札幌市北区北11条西7丁目 北海道大学教育学部 守屋淳
011-706-3089（研究室直通）
moriya@edu.hokudai.ac.jp

投稿／投稿相談申込書

注意：申し込みは郵送またはメールにて（FAX不可）

氏名	
所属	
連絡先住所	〒
電話番号／FAX 番号	/
Eメールアドレス	
投稿種別	
投稿論文題目	
相談支援	要 ・ 不要 （○をつける）
備考	

*相談支援を「要」とする場合、投稿論文概要（200～400字／取り上げる先行研究、事例などについてできるだけ具体的に）

*問い合わせの方はその内容をできるだけ詳しく

※メールの場合には、上と同様の内容を編集委員会（投稿担当）まで送信願います

送信先アドレス：moriya@edu.hokudai.ac.jp